

国向け署名 1月末中間集約

各県の奮闘で12月末比4万7590筆増 **77万2981筆へ**

国向けの署名にとりくみについては、2月18日の署名提出院内集会にむけて、最終版の署名集約の動きに入っています。都道府県負担1/4という課題ありつつも、高等学校授業料無償化が実現される方向で予算案が組まれています。私学選択の経済的条件が軽減される中、それに対応する教員増をはじめとした教育条件拡充のための経常費助成増額、教育予算増を求める国向け署名を1筆でも多く集約して、現場の声を届けましょう。

前年超過6県 自主目標超過4県 … 各県前年超過をめざし最後まで奮闘しよう

1月末集約数の中間報告は、2月6日時点で13都道府県から届いています。13都道府県の報告で前年同期の97.9%に到達しています。

そのうち、福島、群馬、埼玉、神奈川、石川、滋賀の6県で、前年集約数を超過しました。また、そのうちの福島、石川、さらに長崎、宮崎の4県が自主目標を超過しました。

国向け署名にとりくんでいる他の26府県も

1月末の集約数の報告をお願いします

紹介議員 獲得の動き…2月9日を起点に積極的に動こう

紹介議員については、高知から衆議院議員2人、参議院議員3人計5人の報告が届いています。2026年度予算案の審議も顧みずに強行された衆議院総選挙により、このうちの衆議院議員の紹介議員はどうか不明という事になります。一方参議院議員には承諾を得ることができます。また2月8日の選挙結果により、新たな衆議院議員が選出されていきます。2月9日を起点に国向け署名の紹介議員獲得の動きをとりましょう。

また、2月18日の国向け署名提出院内集会の日も、東京の事務所へ紹介議員を要請していく機会に位置付けていきましょう。

福井県私学の公費助成をすすめる会

すすめる会NEWS

No. 32 | 2025 11月号 | 議員懇談

11/22 議員懇談(立憲民主)

11月22日に福井選出の衆議院議員で立憲民主の波多野議員と辻委員と懇談を行いました。お二人は昨年から私学助成署名の紹介議員になってくださいました。懇談では、私学の無償化制度を目前にした現在の状況と課題について話をしました。奥出さんからは、福井県の私学助成制度の概要、福井での署名の取り組み、愛知独自の教育条件向上に向けた制度の紹介を行いました。特に「なぜ私学ばかり」という声か聞こえてくる中で、地方私学は経営を続けていくために人件費を切り詰めるから施設設備に投資している現状があることも伝えられました。竹澤からは有期雇用率の高さからくる教育条件への影響、瀬戸さんからは授業料以外にかかる費用の実態を話しました。



辻さんからは、公立と私学の競争が激化する中で、「子ども間の分断を避けなければならない」とおっしゃっていました。また波多野さんは「学校をよくしていくための働きかけが保護者や子どもたちに行くことはよくない。子どもたちの権利の問題として私学助成の問題を考えた」と話してくださいました。また、有期雇用の問題に関して、県議会でも議論になった方が良かったかも、ということ、県議会議員の方を紹介してくださいました。少しずつ協力体制が出来上がってきました。引き続き、このような関係性を続けていきます。

11/24 議員懇談(自民)



11月24日には、福井選出参議院議員で自民の滝波委員と懇談を行いました。福井では自民党からの私学助成署名の紹介議員がいませんので、初の自民党の国会議員との懇談になります(福井県議員からはお断りの連絡がありました)。すすめる会として、次年度の制度の前進をお話を伝え、さらなる私学助成と教育費の増額の要望をお伝えしました。滝波議員からは、「財政上の規律を厳格しながら、困っている人に手の届く政治を行いたい。経済的なことを理由に選ばない学校を選べなくなるような(なるように)制度を充実させていくことは私たちとしても賛同するところですよ」との言葉をいただきました。

とても優しい語り口調で、丁寧に対応していただき大変感謝する次第です。12月5日の私学助成に関する院内集会のお誘いも検討していただけることでした。これからも懇談を続けていきたいと思えます。福井県でも超党派でつなぐ、子どもたちの等しく教育を受ける権利を訴えかけ、公私ともに教育予算の増額をしてもらえようと思っております。

左は「福井県私学の公費助成をすすめる会」が11月実施した議員懇談の様子を報じる『すすめる会NEWS No.32』です。

11/22の波多野議員と辻議員については、今回の選挙結果によって再度要請が必要になります。選挙前に紹介議員を承諾してくださった当選議員には、選挙前の承諾について再度確認をとりましょう。新たな当選議員には私学の学費実態、私学現場の実情をお伝えし、紹介議員を要請していきましょう。

紹介議員の獲得は

3月末まで続けましょう

通常国会における「請願」の扱いは、国会会期の後半期になります。そのため、紹介議員をとおした国向け請願は4月まで可能です。今回の総選挙で紹介議員獲得のテンポが混乱させられましたが、全国のすすめる会としては、3月末までは、全国で紹介議員の獲得に奮闘する方向でいます。

院内集会の参加者を組織し、

2月16日までに報告をお願いします